



GD workshop **制限事項**

平成 10 年 12 月 21 日

本制限事項は、

- ***GD Workshop version 2.4.37a***
- ***Firmware version 2.4.5i***

に対するものです。



1. 変更履歴

1.1. 追加

平成 10 年 12 月 21 日

- 不具合情報(ディレクトリレコードの問題)

平成 10 年 10 月 16 日

- No Speed Restrictions 機能の禁止(**重要**)
- 不具合情報の追加
- LED について

平成 10 年 7 月 15 日

- ファームウェアのアップデート
- トレークローズ時
- HDD のゴミ
- Set5 の電源 OFF

平成 10 年 6 月 30 日

- ディレクトリ & ファイルの追加機能
- 各トラックの最小容量
- ASPI マネージャに関する注意事項

1.2. 変更

平成 10 年 10 月 26 日

- 「No Speed Restrictions 機能の禁止」の削除

平成 10 年 10 月 16 日

- ステム制限における「GD-ROM auto-build, and files to 2nd session」設定の削除

平成 10 年 7 月 15 日

- ファームウェアの書き換え(**重要**)
- 各トラックの最小容量
- ファイル数制限等



2. LED について

ファームウェア 2.4.5e にアップデートすると GD-Drive 指定時に Set5 の真中の LED が点灯した状態になります。

3. ASPI マネージャのバージョン

ASPI マネージャはバージョン 4.00 以降が必要です。Windows95 に標準で付属する ASPI マネージャは使用できません。詳しくは SCSI カードに付属のマニュアルをご参照ください。なお、最新版 ASPI マネージャは、<http://www.adaptec.com/support/overview/ezscsi4x.html> より、ダウンロードできます。

4. ディレクトリ&ファイルの追加機能

開発を行う場合は、推奨使用方法に記述してある方法を用いて **一回でイメージを構築するよう**にしてください。ディレクトリとファイルの追加を行った場合は、正常に追加されたかどうかを確認するように心がけて下さい。追加が行えない場合は、推奨使用方法での対応をお願い致します。

5. データのバックアップ

GD workshop を使用する場合は、**必ずデータのバックアップを取る**ように心がけて下さい。

6. 各トラックの最小容量

単密領域、高密領域の全てのトラックに一定量のデータが必要です。

- MODE1 トラック → **600KB**(4 秒分)以上
- CDDA トラック → **690KB**(4 秒分)以上

のデータが必要です。容量が足りない場合は、トレイをクローズすることができません。その場合、CDDA トラックは特に DA データを格納する必要はありません。

7. ファイルシステム制限

File System Configuration ダイアログボックスで選択可能な項目は、

- **GD-ROM**

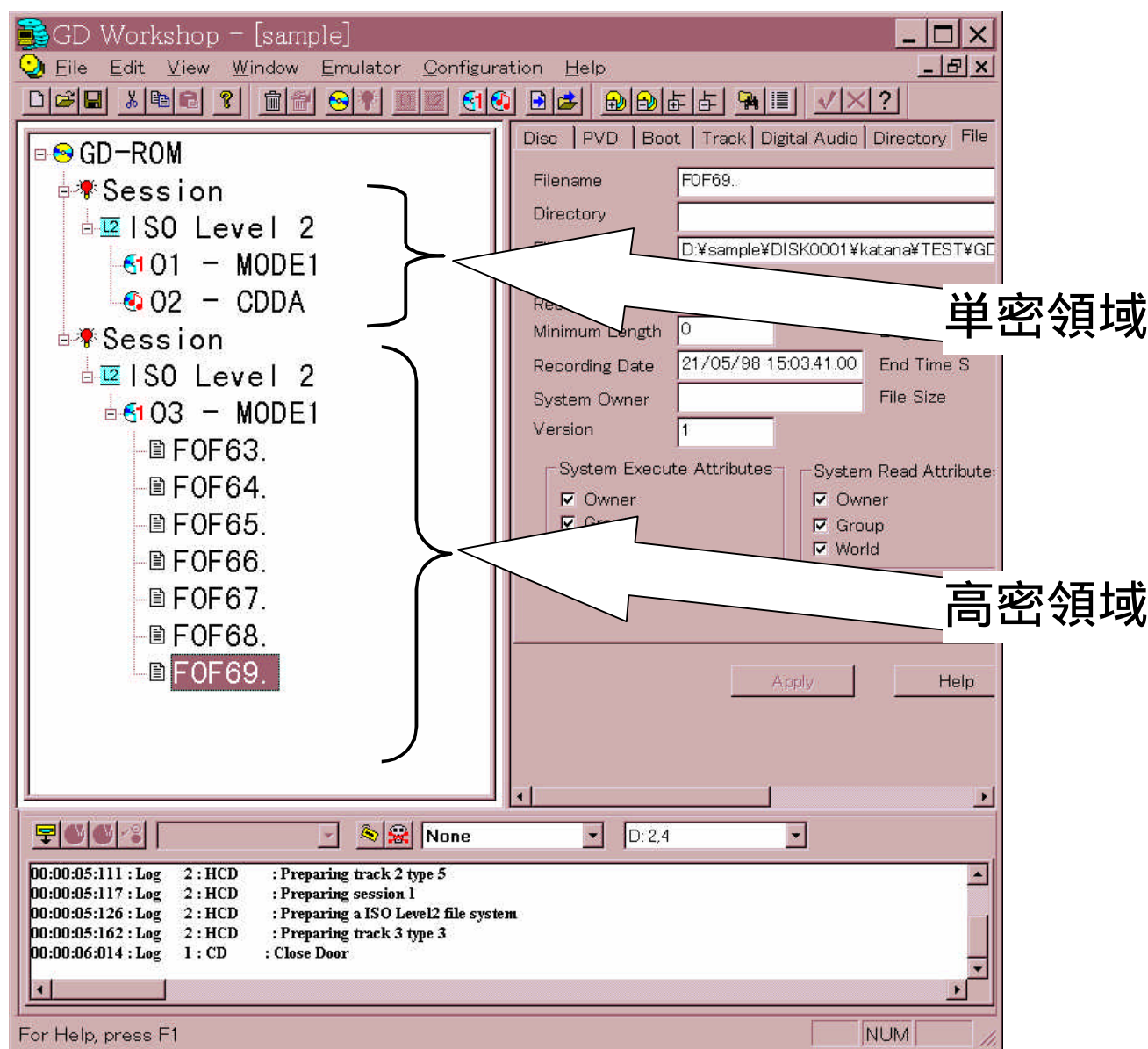
のみです。

データは高密領域のみに配置して下さい。GD-ROM 用のファイルシステム¹は高密領域のみアクセス可

¹ ファイルシステムのバージョンは、ヘッダーファイル sg_gd.h の中を参照すると確認可能です。



能になります。古い SDK のファイルシステムは単密領域のみを使用していたため、新しいライブラリでリンクし直す必要があります。ご注意ください。



8. GD-ROM に関して

GD-ROM は **ISO9660 Level2 仕様のみ**に促しています。

- ファイル名の制限は、**ファイル名 + 拡張子で30 文字以内**です。(必ずピリオドを付加する。ピリ

Version 0.47 以上であれば高密領域対応になります。



オドは 30 文字に含まれません。ピリオド込みで 31 文字まで可能です。)

- **ディレクトリ名の制限は、31 文字以内です。**
- ファイル名、ディレクトリ名に使える文字は、大文字英数字とアンダーバーのみです。(A ~ Z0 ~ 9_)
- **ディレクトリは 8 階層までです。**

となっています。

GD workshop にはこれらの制限が一部入っていませんが、将来的に上記の仕様を満たさないものは使用できなくなるため、この仕様内で運用して下さい。

9. ファイル数制限等

- ファイルは、15000 個まで使用可能です。
- ディレクトリは、500 個まで使用可能です。
- 1 つのディレクトリに 4000 個までファイルを格納可能です。

10. GD workshop ツールの制限

使用してはいけない項目

- PVD、Boot、Track、Digital Audio、Directory、File Source、Hard Errors の各タブ
- GD Writer 機能
- メニューの Configuration → Hardware で、Drive Removable のチェックは外さないようにして下さい。これを外すと GD エミュレートができなくなります。

使用方法に関する制限

- GD workshop のトレーがオープンしている状態で、ファイルシステムを使用しない。
- Project Window でディレクトリをドラッグ&ドロップすると、余分なディレクトリが出来ることがあります。

11. 推奨使用方法

- A) 専用のディレクトリを用意する。(Set5 のリムーバブルディスクなど)
- B) そのディレクトリに GD に書き込むディレクトツリー構造を全て構築する。
- C) 上で作ったディレクトリの下を全てをマウスで GD workshop のプロジェクトウィンドウに **ドラッグ&ドロップ**する。

12. プロジェクトの編集

- GD-Workshop の不具合で、プロジェクトの編集を行った場合に、編集情報が更新されない場合が発生します。この場合は、プロジェクトを「保存、閉じる、再読み込み」を行ってください。

13. トレークローズ時

- **トレーが閉まっている場合は、プロジェクトの編集は行わないで下さい。**



- Set5 でファイルをアクセスしているときに、そのファイルに変更を加えた場合、動作の保証はできなくなります。
- TOC、システムの情報はトレーを閉めたときに更新されます。トレーが閉まっているときにファイルにアクセスした場合、システムの情報が更新されない状態でファイルアクセスを行うことになります。

14. HDD のゴミ

GD workshop でファイルやディレクトリを消去しても、Set5 の HDD からデータは消去されません。定期的に **Set5 の HDD² のフォーマットをお勧め致します**。

15. プロジェクトの保存

プロジェクトの保存は必ず PC に接続されている HDD に行ってください。

16. 不具合時

- 使用時はログを確認して下さい。
- 動作が不正な場合は、Project を新しく生成して下さい。
- Project を新しくしても不正な場合は、Set5 のリムーバブルディスクをフォーマットし直して下さい。

17. ファームの書き換え

GD workshop のバージョンが古い場合は、ファームの書き換えが必要になります。

- ファームウェアのファイルは、Set5 のリムーバブルディスクではなく、
PC の HDD からインストールして下さい。
- ファームを書き換える場合は、**書き換えが終了するまで絶対に触らないようにして下さい**。ファーム書き換えに失敗した場合、ソフトでは修復できなくなります。

18. Set5 の電源 OFF

Set5 の電源を OFF(リセット)する場合は、**HDD にアクセスしていないが確認してから**電源 OFF(リセット)して下さい。

² PC からはリムーバブル HDD と認識されている

³ フロントパネルに LED が 3 つ並んでいるいますが、HDD アクセス時は左端の LED が点灯しています。



19. 不具合情報

- 確率は低いですが、ディレクトリの移動失敗する場合があります。この現象と考えられる状態が発生した場合は、そのディレクトリにダミーのデータを配置などの対処を行ってください。(原因：ディレクトリレコードに格納されているデータが、2048bytes 丁度になった場合にこの不具合が発生します。)
- Explorer などからファイルを GD workshop にドロップすると、マウス指定位置ではなく、カーソル位置にファイルがドロップされることがあります。ドロップ位置をカーソルで指定するようにして下さい。

以 上